

議会だより

No.181
令和3年8月
発行 福島県鏡石町議会
編集 広報広聴常任委員会
〒969-0492 福島県若狭郡鏡石町 不持沼345
電話0248(62)2110
印刷 南永山印刷

鏡石幼稚園



七夕に願いをこめて



鏡石保育所

織姫と彦星が、年に一度だけ出会う七夕。
鏡石幼稚園と鏡石保育所の子どもたちは、みんな
で願いごとを書いた短冊を飾りました。
無限の可能性を秘めた子どもたち、願いごとは
きっと叶うよ！

目次

第8回定例会	2・3ページ
審議の結果	4ページ
第9回臨時会	5ページ
一般質問	6～9ページ
町民の声	10ページ

去る6月8日、鏡石ライオンズクラブの活動の一環として、定例議会を傍聴させていただきました。昨年からコロナ禍で課題は山積しており、政治の果たす役割はますます大きくなっており、その中で、執行部と議員の真剣なやり取りを肌で感じることが出来ました。今後、成田地区の遊水地計画などの行方次第では、町が大きく発展する可能性があります。町政に携わる方々に、大いに期待したいと思います。

鏡石ライオンズクラブは、1983年に設立され、今年38年目を迎えました。現在会員数18名、うち3名の町議会議員が当クラブに在籍しております。



ねもとりゅうたろう
根本 竜太郎 さん

私たちは、「地域社会へ奉仕」をテーマに長年事業を続けて参りました。その中でも、行政では手の届きにくいところに焦点を当てて活動しております。東日本大震災では、中学校へのグラウンドピアノ寄贈、一昨年の台風19号災害では、防災用具などの支援をさせていただきました。中学生バスケットボール大会は、昨年、今年とコロナ禍で残念ながら中止になりましたが、来年はコロナの終息と共に開催できることを願っております。

近年は、町の環境を良くしたいとの思いから、春から秋にかけて駅東口の花壇の整備を実施しています。また、今年、小児がんや白血病などにより髪の毛を失い、ウィッグを必要としている子供たちのために、医療用のウィッグを作成し無償で提供する活動に取り組んで行きたいと考えております。

コロナ禍以降、行政、政治家に対する風当たりが強くなっているように感じます。しかし、こういう時代だからこそ、他に批判的になるのではなく、今、自分が出れる事がコツコツと積み上げていくことが大切ではないでしょうか。ライオンズクラブの活動は、とても小さなものですが、まず私たちの属する地域社会が、昨日より今日、今日より明日が少しでも良くなるよう、笑顔が増えるよう、奉仕の精神でこれからも活動を続けて行きたいと思っております。

なお、ライオンズクラブでは、随時、私たちと一緒に活動してくれる仲間を募集しています。お気軽にお問い合わせください。



ライオンズクラブのシンボルマーク



整備した駅東口の花壇



鏡石ライオンズクラブの皆さん

町民の声

ウィ・サーブ 鏡石町

鏡石ライオンズクラブ 会長 根本 竜太郎

編集後記

新型コロナウイルスの影響で一年延期された、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、今、灼熱の暑さのなかで開催され、世界のトップアスリートの活躍が連日伝えられています。

町内のコロナ感染者は最小限に抑えられ、町民の方々の予防に対する意識の高さを実感する日々です。一日も早い終息を願っております。

6月定例会では、2月に発生した福島県沖地震の復旧関連や児童福祉の充実など多岐にわたり審議が行われました。傍聴席には多くの方々が来場され、議場では活発な議論が交わられました。今後とも更に多くの方々に来聴して頂き、ご意見を賜ることが出来れば幸甚に存じます。

議員一同開かれた議会を目指し真剣に取り組んで参ります。

(角田真美委員)

広報広聴常任委員会
委員長 今泉 文克
副委員長 大河原正雄
委員 畑 幸一
委員 角田 真美
委員 橋本 喜一
委員 円谷 寛

福島県沖地震の災害復旧事業など

約1億3千万の増額補正予算を可決

第8回鏡石町議会定例会は、6月7日(月)から11日(金)までの5日間の会期で開催されました。令和2年度各会計補正予算などの専決処分や繰越計算書の承認、ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正、令和3年度一般会計補正予算など、合わせて27の案件を審議し、議決しました。また、一般質問は6月8日(火)に行われ、3名の議員が登壇し、多岐にわたる行政課題について、質問が行われました。

議案など全27件議決

今回の定例会では、報告案件20件、人事案件2件、条例改正1件、補正予算2件、陳情1件、意見書案1件の計27議案を審議しました。

報告案件では、税条例の一部改正、令和2年度一般会計各特別会計の整理予算の専決処分、令和2年度事業の継続費や繰越明許費など、20件全てが承認されました。主な繰越事業は、健康福祉センター建設事業、新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業、第二小学校整備事業などです。人事案件では、固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員の推薦の2件が同意されました。

条例改正では、ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正が可決されました。補正予算では、令和3年度一般会計、鏡石駅東第1土地

区画整理事業特別会計の2件が可決されました。陳情では、地方財政の充実・強化を求める陳情書が採択され、関連する意見書案が可決されました。

子育て世帯生活支援特別給付など増額補正

令和3年度一般会計補正予算では、1億3,343万円が増額され、一般会計の予算総額は、65億3,669万円となりました。主な事業は、低所得の子育て世帯に対する特別給付金や今年2月に発生した福島県沖地震の災害復旧事業などです。

固定資産評価審査委員を選任

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任案が提出され、新たな委員1名の

人権擁護委員を推薦

任期満了に伴う人権擁護委員の推薦案が提出され、新たな委員1名の推薦が、全会一致で同意されました。新委員の星 玲子氏(中町)の任期は、10月1日から3年3か月間です。

一般会計の主な補正予算

新型コロナウイルス感染症に伴う子育て世帯生活支援特別給付事業	8,130万円
社会資本整備総合交付金事業 (歩道新設工事、舗装改修工事等)	6,478万円
福島県沖地震災害復旧事業 (児童館、中学校、鏡石駅東西自由通路等)	5,827万円



果樹凍霜害の現地調査 <産業厚生常任委員会>



被害を受けた果樹園を視察

6月10日(木)に、産業厚生常任委員会(角田真美委員長)が開催され、令和3年4月に発生した凍霜害の被害状況を確認するために、現地調査を行いました。今回の凍霜害により、高久田地区を中心に、桃、りんご、梨など46.9ヘクタール、約6,938万円の被害を受けました。委員5名は、町担当課から被害農家を支援する凍霜害緊急対策事業について説明を受けた後、遠藤町長など町関係者と合同で、被害を受けた高久田地区の果樹園を視察しました。併せて、須賀川市と高久田地区の接続道路についても現地調査を行い、現在の状況と今後の予定を確認しました。

歴史民俗資料館の視察 <総務文教常任委員会>



歴史民俗資料館を視察

6月10日(木)に、総務文教常任委員会(橋本喜一委員長)が開催され、鏡石町歴史民俗資料館の現地調査を行いました。歴史民俗資料館は、町民の郷土の歴史を体感する場として、旧成田幼稚園舎を改修して、平成27年4月に開館しました。この資料館には、多くの町民から寄せられた古民具、農機具、町の成り立ちに係る考古資料などが展示されています。

委員5名は、町担当課から資料館の利用状況や運営方針などの説明を受けた後、館内の貴重な展示物を視察しました。

第6次総合計画調査特別委員会

6月10日(木)に、第3回鏡石町第6次総合計画調査特別委員会(畑幸一委員長)が開催されました。特別委員会は、全議員10名で構成されており、令和4年度から10年間のまちづくりの指針となる「鏡石町第6次総合計画」について、議会としての意見を反映させる場になります。3回目となる今回の委員会では、担当課から総合計画の中心となる基本構想の組み立てや基本目標、計画の体系などの素案が示され、活発な議論が交わされました。

陳情1件を採択

今定例会には、陳情第12号「地方財政の充実・強化を求める意見書提出陳情書」が提出され、総務文教常任委員会(橋本喜一委員長)に付託されました。

陳情書は、6月10日(木)に開催された総務文教常任委員会において、採択すべきものと決定し、6月11日(金)の本会議において、委員会決定のとおり採択されました。また、関連する意見書案も可決されました。

特別委員会の審議経過

- 第1回** 令和3年3月4日(木)
委員長、副委員長の選任
- 第2回** 令和3年3月9日(火)
第5次総合計画の評価・検証
第6次総合計画の概略
今後のスケジュール

第8回定例会 審議の結果

◎令和3年6月定例会提出議案 27件
 (報告20件、人事案件2件、条例改正1件、補正予算2件、陳情1件、意見書案1件)
 ◎審議の結果、議案は、すべて全会一致で可決、承認、同意、採択されました。

議案等番号	議案件名及び概要	審議結果
報告第26号	鏡石町税条例等の一部を改正する条例の制定	承認
報告第27号	令和2年度鏡石町一般会計補正予算(第14号)	承認
報告第28号	令和2年度鏡石町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	承認
報告第29号	令和2年度鏡石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	承認
報告第30号	令和2年度鏡石町介護保険特別会計補正予算(第4号)	承認
報告第31号	令和2年度鏡石町工業団地事業特別会計補正予算(第2号)	承認
報告第32号	令和2年度鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算(第5号)	承認
報告第33号	令和2年度鏡石町育英資金貸付費特別会計補正予算(第2号)	承認
報告第34号	令和2年度鏡石町公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)	承認
報告第35号	令和2年度鏡石町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	承認
報告第36号	令和3年度鏡石町一般会計補正予算(第1号)	承認
報告第37号	令和3年度鏡石町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	承認
報告第38号	鏡石町一般会計継続費繰越計算書について	承認
報告第39号	鏡石町公共下水道事業特別会計継続費繰越計算書について	承認
報告第40号	鏡石町農業集落排水事業特別会計継続費繰越計算書について	承認
報告第41号	鏡石町上水道事業会計継続費繰越計算書について	承認
報告第42号	鏡石町一般会計繰越明許費繰越計算書について	承認
報告第43号	鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	承認
報告第44号	鏡石町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	承認
報告第45号	鏡石町上水道事業会計予算繰越計算書について	承認
議案第167号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて (前任者の任期満了に伴い、吉田賢司氏を選任することに同意を求めるもの)	同意
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (前任者の任期満了に伴い、星玲子氏を推薦することに意見を求めるもの)	同意
議案第168号	鏡石町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について (高等学校等に在籍していない児童の医療費助成対象月を拡大)	可決
議案第169号	令和3年度鏡石町一般会計補正予算(第2号) (福島県沖地震の災害復旧事業などによる増額)	可決
議案第170号	令和3年度鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) (区画整理地内の道路築造工事の単独事業から補助事業への組み換えによる増額)	可決
陳情第12号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出陳情書 (新型コロナ対策や医療・介護、子育て支援など地方自治体の財源確保を求めるもの)	採択
意見書案第11号	地方財政の充実・強化を求める意見書(案) (陳情第12号採択に伴う意見書)	可決



第9回臨時会

第9回臨時会

凍霜害緊急対策事業 1,694万円の 増額補正予算を可決

**被害農家を
緊急支援**

第9回鏡石町議会臨時会は、令和3年6月30日(水)に開催されました。この臨時会では、今年4月の凍霜害被害に伴う緊急対策事業に関連する令和3年度一般会計補正予算1件の議案が審議され、原案のとおり可決されました。

第9回臨時会 審議の結果

議案番号	件名
議案第171号	令和3年度鏡石町一般会計補正予算(第3号)

※議案は、全会一致で可決されました。

一般会計の主な補正予算

◎凍霜害緊急対策事業 総額 1,694万円
 (肥料購入費、病虫害防除費、防霜ファンなど施設整備)

(内訳)	内容	金額
①	凍霜害緊急対策事業補助金(農業災害対策)	542.6万円
②	凍霜害緊急対策事業補助金(果樹産地強化対策)	626.4万円
③	凍霜害緊急対策事業補助金(果樹産地防霜施設整備対策)	525万円

祝 特別功労者表彰伝達 <大河原正雄 議員>

～20年以上在職功労者として福島県町村議会議長会より表彰～



議場で表彰を受ける大河原議員



大河原議員

令和3年6月3日開催の福島県町村議会議長会令和3年度特別功労者表彰の伝達式が、第8回定例会に先立ち行われました。この表彰は、町村議会議員として20年以上在職した方が対象で、大河原正雄議員が、このたび表彰されたものです。おめでとうございます。



一般質問

- 駅東開発の促進策について
- 成田地区への遊水地計画の進捗状況について
- 町民プール「すいすい」の現状と改善策について
- 高久田地区のほ場整備計画について
- 学校給食費の無料化について

円谷 寛議員



一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に問題点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

質問する議員は、執行当局に事前通告をします。本会議場での持ち時間は1人40分間で答弁の時間は含みません。一般質問の要旨を掲載しました。

(1人1ページ)

なお、今議会で一般質問をした議員は3人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
7	円谷 寛	<ul style="list-style-type: none"> ○ 駅東開発の促進策について ○ 成田地区への遊水地計画の進捗状況について ○ 町民プール「すいすい」の現状と改善策について ○ 高久田地区のほ場整備計画について ○ 学校給食費の無料化について
8	今泉文克	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康福祉センターについて
9	角田真美	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内の環境汚染に対する取り組みについて ○ 新型コロナ禍での危機管理について ○ 福島県沖地震における町の復興状況について ○ 町の将来の目標人口と人口減少の克服について

議会傍聴へお越し下さい

今回の定例会は、9月となります。あなたの目と耳で確かめ、町政に参加しませんか。傍聴手続きは、役場庁舎2階の議会事務局事務室で、住所と氏名を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

三議員が町政を問う

質問

駅東開発予定地の東部準工地区に調整池と公園墓地を建設し、開発の促進を図るべきではないか。

都市建設課長

第5工区内の調整池及び公園の施工は、現在施工中の第3工区の進捗に合わせて今後整備する工区の検討をする。なお、区画整理事業計画の中に、墓地公園は位置づけられていないので、墓地公園の整備は難しい。

質問

成田地区の遊水地計画について、地区住民の意向は、どの様にまとまっているのか。

都市建設課長

昨年11月、「水害から居住地を守る成田地区推進協議会」が設立された。国から遊水地の範囲が示されたばかりなので、今後、意見の集約や要望の取りまとめを行っていく。

質問

町は遊水地計画に、どう取り組む「決意」なのか。



阿武隈川の氾濫

町長

昨今の異常気象により成田地区は、地形上、今後も被害が懸念される。水害から地区住民の命と財産を守るためには、高台移転しかないと考えている。今年4月からは、治水対策室を設置した。行政区、協議会、地権者の皆さんと連携を取りながら、住みよい安全な地域となるように進めていきたい。

質問

町民プールの利用状況は。

教育課長

年間約8万人の利用があるが、昨年度は、新型コロナウイルスによる臨時休館などの影響で、5万7,636人の利用者となった。今年4〜5月の利用者は、1万788人で、例年どおりの人数に戻っている。

質問

町民プールのジャグジーを、矢吹町のように、温泉に改善してはどうか。

教育課長

町民プールのジャグジーに温泉を利用するには、施設の大規模な改修が必要である。平成29年度に、約1億5千万円をかけて、施設の長命化計画による大規模改修を行ったばかりであるため、次回の設備改修の検討課題としたい。

質問

高久田地区のほ場整備計画の進捗状況は。

産業課長

昨年10月に、高久田地区基盤整備事業に係る促進計画を県に提出、現地調査を経て、今年5月に計画審査予定地区の通知を受理した。今後、事業が採択になれば、12月頃に全地権者から同意の徴収を行い、順調に進むと、令和4年度事業開始となる。

質問

ほ場整備の水利計画はどのように進められているか。

産業課長

水源は、既存のため池と溪流水である。この事業により水路が整備され水管理の負担軽減を図れる。排水の再利用を行う予定もある。

質問

ほ場整備の農家負担はどの位か。

産業課長

負担割合は、地元負担が12.5%。農地集積などの達成率によって、促進費が最大12.5%交付されるため、その場合、工事費負担はなくなる。集約目標達成のために、地権者の理解を求めていく。

質問

町でも学校給食費の無料化の時期ではないのか。

教育課長

学校給食費を全額補助すると、年間約6,159万円、3分の1補助で、年間約2,053万円必要となるが、第二小学校改修事業などもあるため、財源確保は厳しい状況である。近隣市町村の状況を把握して、慎重に検討する。



- 町内の環境汚染に対する取り組みについて
- 新型コロナウイルス禍での危機管理について
- 福島県沖地震における町の復興状況について
- 町の将来の目標人口と人口減少の克服について

角田真美議員

健康環境課長
各行政区長などを理事とする保健委員会を組織し、不法投棄防止を推進している。区長を通じて、地域の不法投棄の情報を得ていることから、各行政区に環境美化推進費を交付して支援している。

質問
地域住民による不法投棄の通報やチェック体制の支援は、

質問

健康環境課長
環境問題として、景観の悪化や害虫の発生要因がある。不法投棄を防止するために、広報紙で犯罪行為であることや不法投棄の手口を紹介し、町への情報提供を呼びかけている。

健康環境課長

質問
不法投棄による環境問題と防止のための啓発方法は、

質問

健康環境課長
以前から産業廃棄物を含め不法投棄の実態があり、定期的な現場の状況確認、監視に努めている。

健康環境課長

質問
不法投棄の現状把握は、

質問

質問
将来に向けた不法投棄の環境回復計画は、

質問

健康環境課長

健康環境課長
環境回復計画は作成していないが、産業廃棄物の不法投棄は、県が投棄者等に原状回復の指導を行うため、町は県と連携し問題解決に努める。

質問

質問
コロナ禍における地震・洪水等の災害時の避難準備とその対応は、

総務課長

総務課長
国の技術的助言に基づき、消毒液やマスクなど感染症対策用備品の確保、LINEによる災害情報提供、避難所としての民間宿泊施設の活用などの体制をとっている。また、国の補助金を活用し、避難所の感染対策用品の充実に努め、パーテーションや防災簡易テント、非接触型体温計などを備蓄している。

質問

質問
新型コロナウイルスワクチン接種で、ワクチン余剰ができた場合の対応策は、

都市建設課長
4号線側の池周辺の仮復旧は完了し、本復旧は、年度内完了予定。高速道路側の池周辺の町道復旧工事は、今月発注し、年内完了予定である。

都市建設課長

質問
仁井田岡ノ内池周辺の災害復旧状況と復旧完了時期は、

質問

質問
町では、被災者支援制度の冊子を作成し、行政区回覧と窓口配付を行っている。利用状況は、準半壊以上の住宅応急修理34件、一部損壊の住宅応急修理6件、災害援護貸付金1件、上下水道料金の減免46件、公営住宅への一時避難が19世帯となっている。

総務課長

質問
福島県沖地震における被災者支援制度の利用状況は、

質問

健康環境課長
集団接種時にワクチンの余剰が発生した場合は、リスト化している町内の介護事業所の従事者等に、代わりに接種してもらおう。個別の医療機関の場合は、別の通院者に代わり接種してもらおう。

健康環境課長



ワクチン接種の様子

質問
公共施設規模を考慮した町の将来の目標人口は、

町長

町長
近年の国勢調査では、平成27年以降、人口が減少に転じている。第6次総合計画では、こうした社会情勢を反映しながら、公共施設規模も含めて、10年後の目標人口を決めたい。

質問

質問
定住人口の維持、増加などの施策は、

町長

町長
主な事業として、「のびのび子育て応援券支給事業」、「出生支援事業」、「住宅取得支援事業」、「婚活支援事業」などの他、今年度新たに「若者定住促進奨学金返還支援事業」、「結婚新生活支援事業」などに取り組んでいる。

○ 健康福祉センターについて



今泉文克議員

質問
健康福祉センターの基本設計について、一部3階建ての目的と展望室の必要性は、

福祉こども課長

福祉こども課長
健康福祉センターは、駅東地区のシンボリックな建物になると考えており、展望室を設けることで、新たな町民の憩いの場としたいと考えている。施設は一部3階建てで、1、2階には、事務室や会議室、多目的室などが配置され、3階が展望室となる予定である。展望室は、周囲360度見渡せるように設計しており、町民が自由に利用できる空間とするほかに、健康づくり事業と連携したウォーキングのモデルコースの設定も検討している。

質問

質問
3階東側屋根部分の空きスペースを、事務室などで利用してはどうか。

福祉こども課長

福祉こども課長
屋根の一部には、太陽光パネルを設置する予定である。その他の予定はない。

町長

町長
利用者の安全を第一に考えて、今回の施設は、2階建てを基本とした。高さ制限もあるので、その範囲内で、3階は展望室一部分のみとしている。

質問

質問
健康福祉センターの駐車場台数が少ないので、障がい者用も含めて、もっと台数確保すべきではないか。

町長

町長
建設敷地は、1.5ヘクタールあるので、まずは、メインとなる建物建設を、しっかりと進めていきたい。駐車場の整備は、予算上5,000万円確保しているが、当面、最小スペースで整備しながら、第2期、第3期の駐車場整備も含めて対応していきたい。

質問

質問
駅東地区の公共施設整備計画の将来像はどのようにするのか。その中で、健康福祉センターの位置付けは重要であるが町の政策は、

総務課長

総務課長
駅東地区には、公共施設として、中学校や図書館、公民館、老人福祉センターなど点在している。現在、区画整理事業の進捗により人口が増加しているため、集会所などの整備は必要である。その際、町全体の既存公共施設の再配置や統合を検討しながら、今回の健康福祉センターのように、複合的に機能を集約した公共施設や単一機能の施設の必要性も検討していく。

質問

質問
健康福祉センター周辺の道路整備の状況は、

都市建設課長

都市建設課長
東町鳥見山公園線は、健康福祉センター敷地西側に整備中であり、今後、上下水道を整備した後、令和4年度に舗装を行う予定である。敷地東側の町道も同様に整備を進めており、健康福祉センター完成までには、進入路が完成する予定である。

町長

町長
団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22年には、今以上に高齢化率の上昇が予想される。こうした中、高齢者が住み慣れた地域で、健康で心豊かに安心して暮らし続けることができるまちづくりを目標として、「健康食生活応援事業」や地域のサロン事業を始めていく。なお、健康と福祉政策の中心的な役割を担う施設が、健康福祉センターであるので、施設を軸として、高齢化対策や福祉政策に取り組んでいきたい。



健康福祉センター建設予定地

質問

質問
高齢者の健康と福祉政策の総合的な目標は、